

福島市デジタル人材バンク

R8年4月1日
デジタル推進課

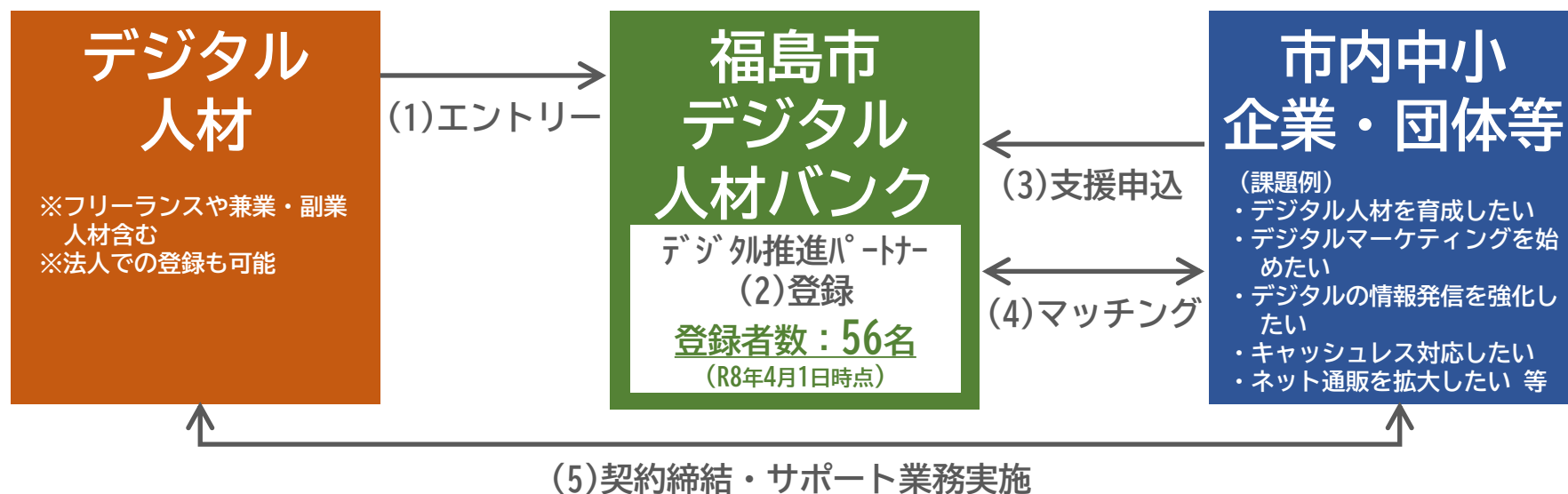


1. 福島市デジタル人材バンクの概要
2. 登録している人材のスキル
3. マッチング実績
4. マッチング事例 Vol.1 ～ Vol.6
5. 支援依頼募集
6. 事業承継
7. 市事業における活用 Vol.1 ～ Vol.2



- 市内中小企業や団体が抱える課題をデジタルの力で解決する「福島市デジタル人材バンク」を設置しています。

(R8年4月1日時点 市内個人:15名、市内法人:13社、市外個人:17名、市外法人:11社)



マッチング 26件 成立 (R8年4月1日時点)

デジタル人材の登録

- (1) 免許資格や自己PR・企業PR等を入力してエントリーします。
- (2) デジタル人材を「福島市デジタル推進パートナー」として登録します。

デジタル人材と中小企業等のマッチング

- (3) 支援を受ける目的・業務概要・期間の情報とともに支援を申し込みます。
- (4) 中小企業・団体等のニーズに合ったデジタル人材を企業へ橋渡しします。

デジタル人材と中小企業等の契約

- (5) デジタル人材と市内中小企業等でサポート契約を締結します。

「その他」の中には…

■Webクリエイター系

- ・Webサイト構築、Webデザイン、Webライティングが可能な人材が多数おり、自社Webサイトのリニューアルやコンテンツ作成を支援することができます。
- ・デジタルが苦手な方向けPRではグラフィックデザインのスキルを活用したチラシを制作することもできます。

■動画制作

- ・YouTube/Instagramリール/TikTokなど、主に若者向けに訴求力のある動画制作を支援することができます。
- ・企業PR動画なども制作することができます。

■DXコンサルティング

- ・社内DX支援、システム選定と導入支援など、社内業務のデジタル化を支援することができます。

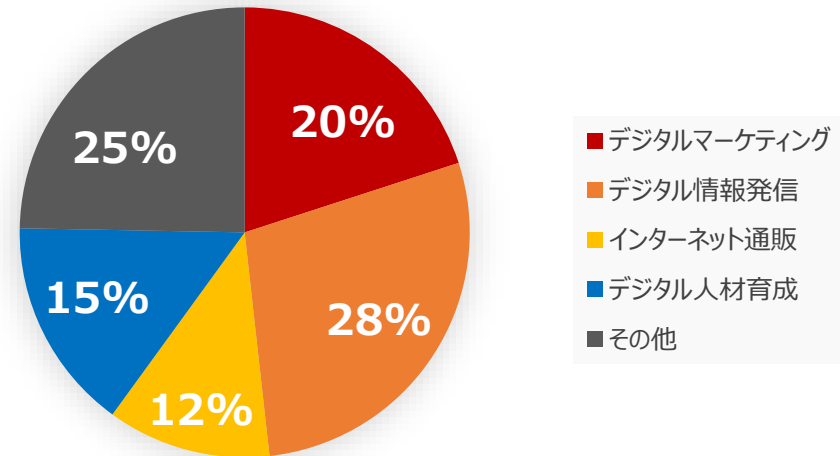
■アプリ開発

- ・スマートフォンを使ったARアプリや、企業が必要とするシステム開発を支援できます。

■生成AIを使用した業務改善

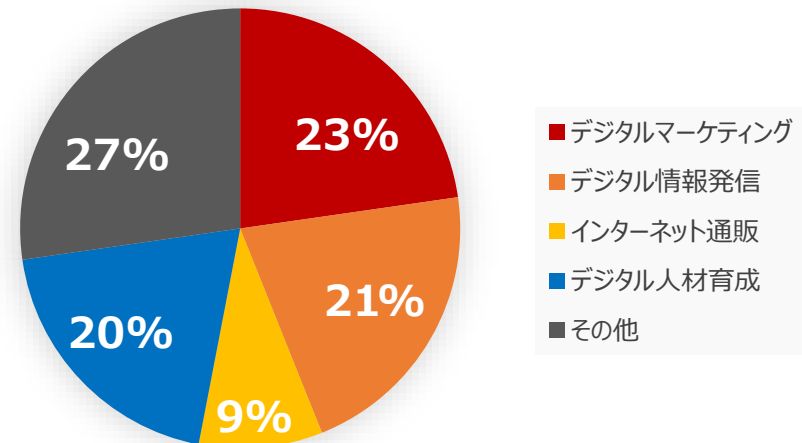
- ・メール対応の自動化、問い合わせの自動仕分け、新規ビジネス創出など生成AIを活用することで可能となる業務改善の提案や支援ができます。

分野ごとのデジタル人材（個人）



Webクリエイターやアプリ開発の人材が多い

分野ごとのデジタル人材（法人）

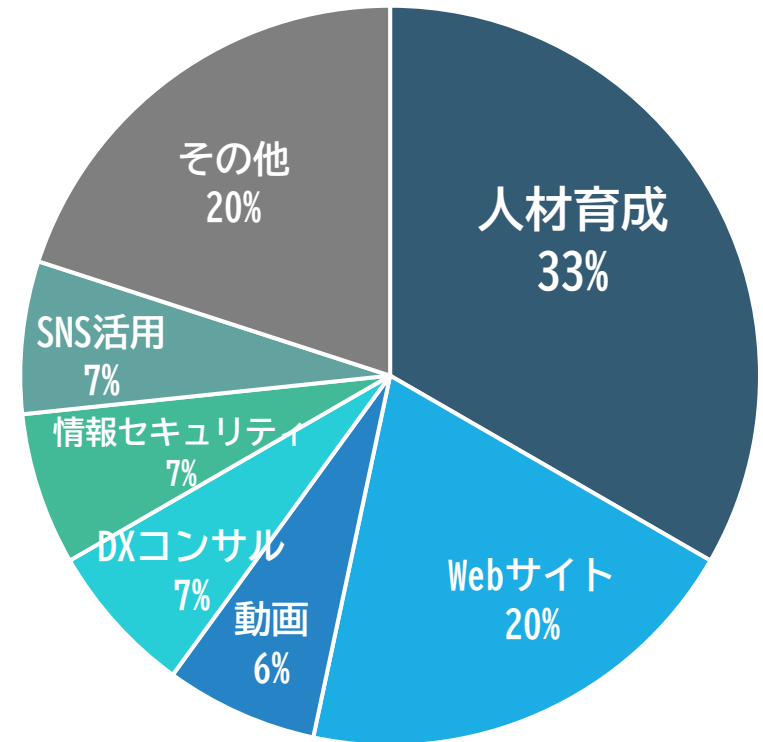


DXコンサルティングの人材が多い

No.	分野	支援内容
1	Webサイト	ホームページリニューアルとEC導入
2	Webライティング	デジタル人材バンクの事例Web記事作成
3	Webサイト	ホームページコンテンツの見直し
4	チラシデザイン	セミナー用チラシデザイン作成
5	Webライティング	デジタル人材バンクの事例Web記事作成
6	人材育成	動画制作のトレーナー
7	その他	福島市の広報情報モニター
8	チラシデザイン	デジタル人材バンクのチラシデザイン作成
9	DXコンサル	決裁業務のDX支援
10	Webライティング	デジタル人材バンクの事例Web記事作成
11	人材育成	動画制作のアドバイス
12	Webライティング	デジタル人材バンクのチラシ用記事作成
13	チラシデザイン	デジタル人材バンクのチラシデザイン作成
14	SNS活用	SNSを活用したイベント集客支援
15	その他	福島市の広報情報モニター
16	人材育成	動画体験講座の支援
17	Webサイト	ホームページリニューアル
18	情報セキュリティ	情報セキュリティ対策の実装
19	人材育成	企業向け生成AI講座の支援
20	人材育成	企業向けDX講座の支援
21	Webライティング	デジタル人材バンクの事例Web記事作成
22	ロゴデザイン	アワード開催に向けたロゴデザイン制作
23	Webライティング	デジタル人材バンクの事例Web記事作成
24	動画制作	動画コンテンツの制作
25	チラシデザイン	アワードのチラシデザイン作成
26	その他	福島市の広報情報モニター

マッチングした分野

(デジタル推進課からの依頼は除く)



人材育成(動画制作、DX人材育成など)やWebサイトが多いが、DXコンサルティング、SNS活用、情報セキュリティ対策などのデジタル人材バンクの活用の幅が広がってきている。

創業55年の信頼と実績

株式会社大竹写真

ゲスト ログイン 新規会員登録

カートの中

ホーム 会社案内 営業案内 学校アルバム作り お問い合わせ 通信販売 今月の特価品



老舗写真店がオンライン販売を強化！ (大竹写真 様 + 根本 雅昭 様)

■ 依頼の背景

- ・ 少子化の影響を受けて学校数が減少している他、個人が撮影した写真を簡単に販売できるサイトの登場もあり、写真撮影業務は先細りの状況にあるため、物販を強化したい。
- ・ 会社の信用を示す自社Webサイトは何年も前から更新できていない。
- ・ Amazon、Yahoo!ショッピング、メルカリ等に出品中だが、購入者の情報を利用した個別アプローチができないため、リピート購入につながらない。
- ・ スキルのあるデジタル人材を社員として採用するのは、人材確保の面と長期雇用の面で敷居が高いため、デジタル人材を必要なタイミングで活用したい。

■ 依頼の概要

- ・ ネット販売拡大のため、自社Webサイトをリニューアルし、自社で決済できるWebサイトを構築したい。

■ 福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- ・ 信頼できる組織から人材を紹介してもらうことが可能であり、活用可能な市の支援制度も紹介してもらえる。

■ 効果

- ・ 自社Webサイトで販売も可能になり、企業の信頼につながった。



デジタル推進
パートナー
根本 雅昭 様

福島市の「新たなビジネスモデル創出支援事業(デジタル化推進枠)」支援制度をご活用して事業を実施して頂きました。

マッチング事例記事▶



福島市
福島市
デジタル化
推進フォーラム

参加費
無料
※フォーラムのみ
参加の場合

日時 2023年11月24日(金)
15:00~17:30(開場 14:30)

場所 クラーク・リアンテサンパレス

対象 市内企業経営者、大学生等
(一般の方の参加も可)

定員 200名

※フォーラム終了後に交流会(17:45~19:15、定員100名、会費4,000円、立食形式)を開催します。

日本のデジタル界のトップランナー
味澤 将宏 氏の基調講演とともに市内企業の先進事例をご紹介します！

デジタルで便利で
豊かな新ステージの
実現を目指して



イベント集客の切り札に！ (山下 有子 様)

■依頼の背景

- ・これまではイベント運営業者にチラシのデザインまでお願いしていたが、契約完了からイベント開催日までの日数が少なく、チラシのデザインに注力できていなかった。
- ・福島市は株式会社テレビユー福島・デジタルハリウッド株式会社と三者連携協定を締結しており、他地域のデジタルハリウッドを卒業したWebデザイナーが福島市デジタル人材バンクに多数登録されており、活用を提供したかった。

■依頼の概要

- ・チラシデザイン案を2案作って欲しい。

■福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- ・ありきたりなデザインではなく、市内企業のデジタル化への気運を高めるために開催するフォーラムにふさわしいデザインにしたいと考えたため。

■効果

- ・市内企業経営者向けフォーラムのため、硬いイメージのデザインを想定していたが、作成頂いた2案のうち女性向けの柔らかいイメージのデザイン案を採用し、敷居が高くないというイメージを持ってもらうことができた。
- ・これまではチラシに関するコメントをもらうことはなかったが、今回は好評だった。

アナログ媒体であるチラシ制作でも、デザインをデジタル推進パートナーに依頼することが可能です。

マッチング事例記事▶



デジタル推進
パートナー
山下 有子 様



DX



ワークフロー

公益社団法人が始めるDXの第一歩！ (福島県歯科医師会 様+東北コピー販売 様)

■ 依頼の背景

- ・ 福島県内の約920会員（歯科医師等）とのやりとりは紙ベースとなっていた。
- ・ 役員が決裁途中で診療所に戻る場合もあり、決裁を得るにも時間がかかっていた。
- ・ 山積みの課題を具体的にどのようにすればいいのか想像もつかなかった。

■ 依頼の概要

- ・ 会員間のやり取りは郵送が当たり前だったり、役員の決裁処理が事務所に来る前提となっていたり、これまでのやり方を変えていきたい。
- ・ 誰でも簡単に利用できるデジタルサービスを1つ導入し、組織内で利便性を実感してもらいたい。

■ 福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- ・ デジタル推進課が地域のデジタル化を推進していることを知り、まず相談してみようと思った。

■ 効果

- ・ 親身に相談に乗っていただき、業務フローの洗い出しから運用研修まで、手厚い支援をして頂いた。
- ・ 困っていることを整理し、必要なものとそうでないものを選別して最適な提案をして頂いた。

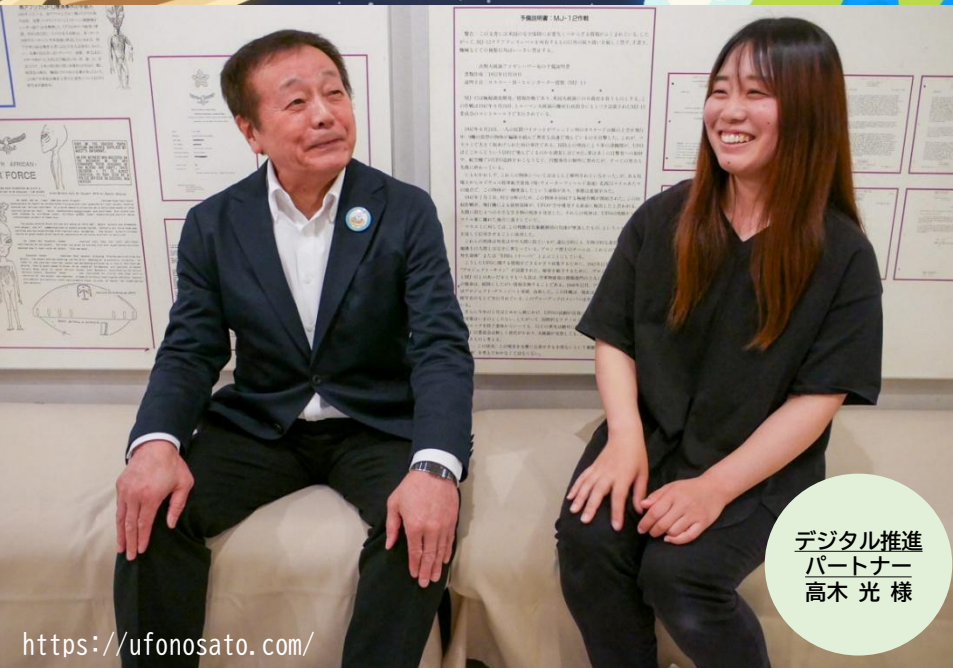


デジタル推進
パートナー
東北コピー販売
様

山積みの課題をどうすればいいのか想像もつかないところから、DXの第一歩を踏み出しました。



マッチング事例記事▶



デジタル推進
パートナー
高木 光 様

地域と人をつなぐ「施設の顔」再生！ (飯野町振興公社 様 + 高木 光 様)

■ 依頼の背景

- ・飯野町振興公社施設「UF0の里」のホームページが、更新を担当できる者が不在のために内容が古くなり扱いに困っていた。
- ・「施設の顔としてホームページは大事」という認識はあったが、どうしていいかわからなかった。

■ 依頼の概要

- ・約20年前に作成した古いホームページのリニューアルをしたい。
- ・UF0の世界観を大事にして、視覚からワクワクするようなホームページにしたい。

■ 福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- ・「シン・UF0の里づくりプロジェクト」として予算がついたため、地域共創課をとおして福島市デジタル人材バンクの存在を知り、支援を依頼した。

■ 効果

- ・ホームページを見た人からは「すごくいいホームページになったね!」という声がたくさん上がった。
- ・リニューアル後は「お問い合わせ」ページからメールが来るようになり、来館前の情報提供やUF0の目撃情報への対応など、ホームページを通じてコミュニケーションが活発になった。

地元の専門性の高いデジタル人材のサポートを受けることで、長年の懸念事項の解決につながった事例です。

マッチング事例記事▶



4. マッチング事例 Vol.5



地域で活躍するデジタル人材の育成！

(デジタルハリウッド福島 様

+ 鳥浜 誠 様、渡邊 隆 様、高橋 剛 様)

■依頼の背景

- ・デジタルハリウッドSTUDIO福島主催で複数のセミナーを開催する予定があり、地元企業と自然につながるような形で開催したいと考えていた。
- ・福島市で活躍中の事業者へデジタルハリウッドSTUDIO福島のセミナーに登壇してもらい、福島市中心部の賑わい創出をしたい。

■依頼の概要

- ・登壇者自身の事業分野で、デジタルに興味を持つ経営者や個人向けのセミナーを開催する。

■福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- ・「デジタル推進パートナーによる個別相談会」で登壇者とのつながりをもったため。
- ・なかなかできない“横のつながり”のきっかけが、デジタル人材バンクの活用で可能だと感じたため。

■効果

- ・地元企業と自然につながることができ、複数のセミナーを開催することができた。
- ・セミナー登壇者と聴講者の間で、新規のサービス提供が決まったり、もっと話を聞きたいとの声が上がったりなどの反響もあった。

デジタル推進
パートナー
渡邊 隆 様
Xenkai㈱
代表取締役

デジタル推進
パートナー
高橋 剛 様
東北コピー販売㈱
代表取締役

デジタル推進
パートナー
鳥浜 誠 様
「せんのいのり」
プロジェクト

デジタル人材の育成に課題を感じている場合には、デジタルハリウッドSTUDIO福島の講座や福島市デジタル人材バンクをご活用ください。

マッチング事例記事▶



タイムポケット基本機能



未来の デジタル・クリエイティブ人材育成！ (BlueOcean&Company 様 + 小野寺 智行 様)

■依頼の背景

- ・ BlueOcean&Companyで自社開発したアプリ「タイムポケット」を活用した企画を中学校の文化祭で披露したい。
- ・ 中学生が自分たちのアイデアで動画を制作できるよう動画制作にノウハウのあるデジタル人材に支援してほしい。

■依頼の概要

- ・ 対象の中学生に対して、学校で使用しているiPadで完結できる動画制作をレクチャーする。

■福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- ・ アプリ制作については自社で行うことができるが、動画制作についてはわからないことが多いため、外部講師に委託したかった。

■効果

- ・ レクチャー後、オンラインにて制作した動画を支援者（小野寺氏）が確認したところ、中学生のみなさんそれぞれが素晴らしい作品を制作できていた。
- ・ 中学生が楽しみながら文化祭で動画発表するまで実現できた。

■支援者（小野寺氏）から一言

- ・ ほとんどの中学生のみなさんは、動画制作について全くわからないことだらけだからこそ、自由な発想で楽しそうに動画を制作していただいたのが印象的でした。

マッチング事例記事▶



中小企業や
団体の
皆さまへ

福島市で活躍する

デジタル人材がデジタル化の
一歩を後押しします。

デジタル化が
切り拓く
新たな道

◀ マッチング事例紹介

デジタルの課題を抱えた市内の中小企業や団体と、多彩なスキルを持ったデジタル人材をマッチングし、課題解決につなげます。デジタル人材の登録状況やマッチング事例については、左記二次元コードからご参照ください。

福島市
デジタル人材バンク

デジタル人材の主な支援事業

☒ Webサイト構築	☒ Webデザイン	☒ Web記事執筆	☒ 動画制作	☒ ARアプリ開発
☒ コンサルティング	☒ 製造系システム導入	☒ 会計システム導入	☒ オペレーション自動化	☒ デジタルマーケティング

※「契約」はデジタル人材と中小企業・団体間で締結していただきます。
※福島市は、「契約」締結に至るまで支援いたします。

お問い合わせ
支援申し込み

福島市デジタル推進
digital-s@mail.city.fukushima.jp
024-572-XXXX

デジタル推進
パートナー
石井 優 様

はじめの一歩を踏み出すチラシ！ (石井 優 様)

- 依頼の背景
 - ・福島商工会議所の所報への折り込みチラシを考えており、チラシを手にとった方がデジタル化に取り組むきっかけにしたい。
- 依頼の概要
 - ・チラシデザイン案を1案作ってほしい。
 - ・納期が厳しいので、スケジュールを厳守して欲しい。
- デジタル推進パートナーを活用した理由
 - ・福島市とデジタルハリウッド株式会社、デジタルハリウッドSTUDIO福島の運営母体である株式会社テレビユー福島は、デジタルを活用したひとづくり・まちづくりを推進する三者連携協定を締結しており、デジタルハリウッドSTUDIO福島の第1期修了生を応援したい。
- チラシデザインのコンセプト
 - ・黄色で「好奇心」を向上させ、緑色を主としたことで「安心感」を持ってこの制度を利用してほしい。
 - ・「切り拓く道」をイメージし、視線を右上（見出し）から左下（お問い合わせ支援申し込み）へ誘導する。

今後もチラシを作って市内中小企業のデジタル化を後押しして参りますので、ご期待ください！

チラシ▶



変化する時代でも勝ち続けられるように。

攻めるデジタル

福島から新たな挑戦

守る伝統

事業を守るために、時代に合うように。

デジタル推進
パートナー
岡茂 美里 様

特別インタビュー

なる「アイメック農法」を導入した
グラニューファームでは息子さんと
か。そのヒントをお聞きしたいと、
デジタルの活用事例を伺いました。

う気持ちにさせることでしょうか。若者の
向けさせるというところから私はやっ

までの農家のイメージを変える」という
れます。

持ちを持って農業を手伝ってくれる
いるので、その影響も大きいです。
農園さんのこともYouTubeで見て知っ
しかも市内で、こんなにかつて農業を
へると、若い人たちが活躍して
感化されます。
なので休日しか手伝えませんが、僕も
に取り組む予定です。

と経営の効率化、
た収入を目指す

お申し込みは
こちら

正藤さん

今後はもう少しハウスを増やしていきたいですね。そのためには
人も増やして、ハウス1棟に担当を1人つけて、きちんと経営して
いきたいと考えています。そして、ゆくゆくは法人化したいですね。

granyuu-farm

住所 福島県福島市上野中町42
TEL 090-834-4403
営業時間 9:00~18:00

【家族紹介】
中央：正藤正樹さん（37）
左：佐藤美里さん（37）
右：佐藤孝太郎
（長男さんの写真）

福島市デジタル人材バンクでは、デジタル領域の課題を解決する専門家をご紹介します！

福島市デジタル人材バンクは、事業のデジタル化に課題を抱える地域の企業や団体と、デジタルスキルを持つ専門家をつなぐ仕組みです。今回裏面でご紹介するのは、福島市でトマト農業を営むグラニューファーム様の、事業承継を支援したスマート農業やデジタルの活用事例です。今後、事業承継をご検討している方がいらっしゃいましたら、人材バンクをご活用いただき、事業のデジタル化によって次の世代が事業承継に積極的になれるような仕組みづくりのお手伝いをさせていただきます。

お問い合わせ / 支援申し込み

福島市デジタル推進課

digital-a@mail.city.fukushima.fukushima.jp 024-572-3943

※本ページの受付は土日祝日を除く、平日の9:00~17:00となります。
※「契約」はデジタル人材と企業の企業・団体で締結していただきます。福島市は、「契約」締結に際しては支援します。

親子双方の立場から思うこと

正藤さん

若い人に興味を持ってもらうためには、まず「カッコいい」という
ような良いイメージが必要で、私はこれまでの農家のイメージを
ぶち壊したかったんです。

東京以西では若い人たちがグループで取り組んでいるハウス
が多いのですが、ユニフォームを着るなどお洒落で、見た目
麗しいイメージがあります。

ハウス農法なら、早ければ3か月後には収穫ができ収入に
ます。最初は始めてから収穫できるまで1年2年ばかりかっ
て、その間収入はなく、出ていく一方です。まずその時点で
人は興味を持ちませんよね。現実的でもありません。

デジタル推進
パートナー
村上 瑞恵 様

デジタル人材のコラボレーション！ (岡茂 美里 様 & 村上 瑞恵 様)

■依頼の背景

- ・事業承継をテーマとしたチラシを考えており、事業承継の成功事例を反映したチラシを制作したい。

■依頼の概要

- ・デジタル化によって息子さんが事業を継いでも良いという話を取材して記事にしてほしい。
- ・取材内容を元に、親子で事業承継の会話をするきっかけになるようなチラシを作してほしい。

■デジタル推進パートナーを活用した理由

- ・人材によって得意分野が異なり、コラボレーションすることによって新しい価値を生みたい。
- ・事例記事は人物のストーリーを得意とする人材に、チラシはアナログ媒体の広報が得意な人材に依頼したい。

■注目点ポイント

- ・デジタル化を進めることによって、事業承継につながっただけでなく、趣味の時間も確保できる。
- ・若者に興味をもってもらうためには、既存概念をぶち壊す、そしてカッコいいと思えることが重要。
- ・生成AIを活用していくつものキャッチコピー案を提示してくれたので、どのキャッチコピーを採用するか迷うほどだった。
- ・AIがイラストを生成しており、デザイナーというクリエイティブな世界でも生成AIが活躍している。

一度、後継者となる方とデジタルを活用した事業承継を考えてみませんか？

チラシ▶





デジタル推進
パートナー
遠藤 真理 様

新規事業の顔となるロゴ作成！ (遠藤 真理 様)

■依頼の背景

- ・新規事業のために限られた時間の中で、様々な事務作業と並行してロゴを制作する必要があった。
- ・ロゴデザインに関する知識やノウハウが無いため、市職員による対応では限界があった。

■依頼の概要

- ・チラシやトロフィー、受賞者が自身がアワードの表彰を受けたことのアピール等で使用するロゴデザインを制作する。

■福島市デジタル人材バンクを活用した理由

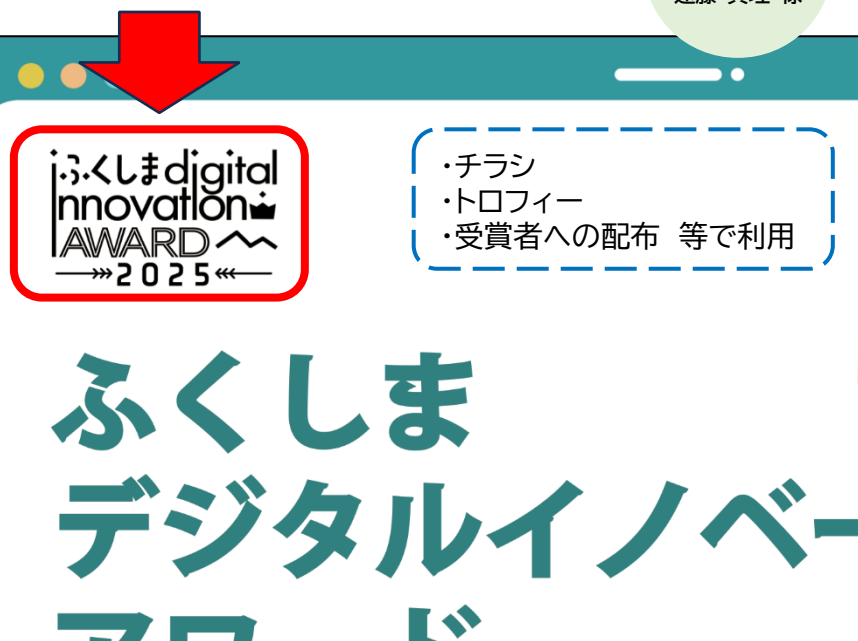
- ・福島市とデジタルハリウッド株式会社、デジタルハリウッドSTUDIO福島の運営母体である株式会社テレビユー福島は、デジタルを活用したひとづくり・まちづくりを推進する三者連携協定を締結しており、市内で活躍するデジタルハリウッドSTUDIO福島の修了生を応援したい。

■注目ポイント

- ・ふくしまの「ふ」を顔のようにデザインした親しみやすいイメージのデザインになっている。
- ・福島市の事業として象徴的なものを入れるため、福島市を見渡す「信夫山」もデザインとして取り入れてもらいました。

■支援者（遠藤氏）から一言

- ・今回ロゴ制作にあたり、福島の多くの方に周知してもらえるよう、親しみやすさとアワードの輝きをイメージしたダイヤを散りばめたロゴをご提案しました。自分が得意とするスキルで貢献出来たことが嬉しく、今後も人材バンクを通して福島発展に繋がる活動をしていきたいです。



ふくしまdigital
innovation
AWARD
2025

ふくしま デジタルイノベーション アワード

ふくしまをデジタルで
“ちょっと良くする”
イノベーション募集中!

◆申込受付期間◆

2025年8月7日(木)
~10月31日(金)

◆募集内容◆

【事業者部門】

デジタル技術・AIを活用した働き方改革、
業務改善、業務プロセスの効率化 など

【市民・学生部門】

デジタル技術・AIを使って地域を盛り上げるアイデア、
実現すれば多くの人に役立つ研究成果 など

◆表彰内容◆

最優秀賞 1件 【優秀賞】若干数 【審査員特別賞】1件

デジタル推進
パートナー
菅野 愛希 様

2026年1月下旬の「令和7年度ふくしま産業交流フェア」と同時開催予定
市長から表彰状と副賞を贈呈・ロゴマークデータの提供・
プレゼン・審査員からの直接講評

詳細はこちら!

福島市政策調整部デジタル改革室デジタル推進課 MAIL: digital-s@city.mail.fukushima.fukushima.jp TEL: 024-572-3943

対象者へ“届く”チラシデザイン! (菅野 愛希 様)

■依頼の背景

- 大きな目的は決まっているものの、募集用チラシを作成するにあたってはイメージがあいまいな部分や時間的な制約もあり、限られた時間の中で相手に伝わるようなチラシデザインの制作に難航していた。

■依頼の概要

- 募集対象者である事業者、市民、学生に内容が伝わるデザインのチラシを制作する。

■福島市デジタル人材バンクを活用した理由

- 新規事業であるために正式発表となるまで調整が必要な部分が多く、あいまいなイメージの部分もあったために直接打ち合わせの対応も可能である市内で活躍するデジタル人材バンク登録者に依頼したいと考えた。

■注目ポイント

- 「アイデアの発見や共有から新たなイノベーションが生まれ、より豊かでワクワクするような福島市に繋げる」というメッセージをイラストで表現してもらいました。
- デジタル分野の事業であることが感じられるように、全体を情報端末の画面に見立てた枠で囲んだデザインになっている。

■支援者(菅野氏)から一言

- 福島市デジタル人材バンクを通して、自分のスキルを市のために役立てる機会をいただき、とても嬉しく思っています。デジタルイノベーションアワードに込められた思いが伝わるデザインを目指して作成しました。たくさんの市民の皆様が届いたら幸いです。